

地域計画

策定年月日	令和 7 年 3 月 12 日
更新年月日	(第 回)
目標年度	令和 16 年度
市町村名 (市町村コード)	久慈市 (03-207)
地域名 (地域内農業集落名)	夏井地区 川代、富原、大芦、中崎、門ノ沢、国坂、小田、生平、夏井、黒沼、早坂、田沢、野中、大崎、大湊、駅前、半崎、閉伊の口、鼻館、田中、宇津目、板橋、鳥谷、菱倉

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	426 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	319 ha
② 田の面積	176 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	250 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	9.2 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	77.2 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農業者の高齢化等により、後継者不足や耕作放棄地の増加が懸念されている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・まとまりがある集落組織において、集落営農活動や中山間地域等直接支払交付金を活用した保全活動を行う。
- ・稲わらや飼料用作物の供給により耕畜連携を推進するとともに、農地の保全を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する方針

- ・現状の利用状況を維持するよう努めるとともに、担い手の希望する条件に合えば、農地の貸付・集積を推進する。
- ・条件の悪い農地について活用できる補助事業等がないか検討するとともに、事業導入においては条件の改善を図り、借り手がつかないまま耕作放棄地化するのを防ぐよう努める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	16.0 %	将来の目標とする集積率	20.0 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

- ・現状の農地の利用状況を維持するよう努めるほか、農地バンクへの貸付けを促進する体制を整える。
- ・現在いる担い手への集約を進め、団地面積の拡大を図るとともに、新たに農業を担う者の掘り起こしを行う。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・現状の利用状況を維持するよう努めるとともに、受け手のいない農用地のリスト化を進め、地域内の情報共有を図る。 ・農地利用最適化推進委員や農地コーディネーターと調整し、農地中間管理機構を通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
担い手の経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び農地コーディネーターと調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
・農業の生産効率の向上や集積・集約化などを図るための基盤整備を推進する。 ・多面的機能支払交付金を活用して、農道や水路等の修繕・更新など農業用施設の長寿命化対策に引き続き取り組む。 ・条件の悪い農地について有効な補助事業等を検討し、耕作条件の改善を図るよう努める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域内外から多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市、県及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。 ・担い手が活用できる補助制度、融資制度、共済制度等による支援を行う。
(5)農業協同組合等の農業サービス事業体等への農作業委託の取組
・農作業受託を行う事業体の取組を支援するとともに、農業支援サービスの活用を推進する。 ・サービス活用により農作業の効率化を図り、農業経営を維持できる体制の整備と遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☒ ⑨その他	担い手育成

【選択した上記の取組内容】

①野生鳥獣被害を軽減するため、補助等を積極的に活用するとともに、機器の適切な維持管理に努める。
あわせて、効果的な追い払い方法等について情報収集に努める。
⑦地域内農家相互の連携を深める。
⑦⑨担い手への集約により、耕作放棄地の防止・解消推進を図る。
⑨集落営農組織等と連携しながら、地域農業の研究を行い、新規就農者・担い手の確保育成を図る。
⑨集落営農組織等による小中学校と連携した農業体験を実践し農業への関心を醸成する活動を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	久慈宮農経済センター	育苗	水稻、園芸野菜

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)
農業を担う者の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、公表する場合やその他施策のために利用する場合等は、本人の同意を得る等個人情報の取扱いに留意してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度: 令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		水稻 WCS ほうれんそう	3 ha	ha	水稻 WCS ほうれんそう	4.5 ha	ha	A	
認農		水稻 WCS	1.9 ha	ha	水稻	0.5 ha	ha	B	
認農		肉用牛 酪農 飼料作物	10.4 ha	ha	肉用牛 酪農 飼料作物	10.4 ha	ha	C	
認農		水稻	4.2 ha	ha	水稻	4.2 ha	ha	D	
利用者		水稻 WCS	1.3 ha	ha	水稻 WCS 園芸野菜	13.8 ha	ha	E	
利用者		水稻	5.5 ha	ha	水稻	5.5 ha	ha	F	
認農		肉用牛 飼料作物	23.1 ha	ha	肉用牛 飼料作物	35.3 ha	ha	G	
利用者		水稻ほか	3 ha	ha	水稻ほか	3 ha	ha	H	
利用者		水稻	0.7 ha	ha	水稻	ha	ha		
認農		酪農	ha	ha	酪農	ha	ha		
認農		養鶏	ha	ha	養鶏	ha	ha		
認農		養鶏	ha	ha	養鶏	ha	ha		
認農		酪農	ha	ha	酪農	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
利用者		水稻	ha	ha	水稻	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
利用者		酪農	ha	ha	酪農	ha	ha		
認農		水稻 きゅうり	4.4 ha	ha	水稻 きゅうり	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
利用者		水稻	5.2 ha	ha	水稻	ha	ha		
認農		菌床しいたけ	ha	ha	菌床しいたけ	ha	ha		
認農		養鶏	ha	ha	養鶏	ha	ha		
認農		水稻 WCS	5.7 ha	ha	水稻 WCS	ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		68.4 ha	0 ha		77.2 ha	0 ha		